

# SEF News Letter

vol.66  
2020.1



## headline

- ✓ 第3回ジャパンSDGsアワードの結果が発表されました
- ✓ 事業活動報告、SEFからのお知らせ



公益財団法人  
Save Earth Foundation



旧年中は格別のご高配を賜りありがとうございました

SDGsの目標年度まであと10年となる本年特に資源循環事業において廃棄物管理業務における法令遵守と省人化を同時に実現し資源循環の更なる推進に役立つ「SEF-Net」の普及に一層注力して参ります

既に利用中の皆様にはぜひ更なる普及へのご協力をお願い申しあげ また利用検討中の皆様にはぜひご導入をお願い申しあげます

輝かしき新春を迎え

皆様のご多幸を心よりお祈り申しあげます

2020年1月 公益財団法人 Save Earth Foundation 事務局一同

## トピックス

### 第3回ジャパンSDGsアワードの結果が発表されました

SDGs達成に向けた企業・団体などの取組を促し、オールジャパンの取り組みを推進することを目的に開催されている「第3回ジャパンSDGsアワード」の受賞者が、昨年12月20日に発表されました。主催は全国務大臣を構成員とする持続可能な開発目標(SDGs)推進本部で、SDGsの達成に向けて優れた取組を行う企業・団体などを表彰しています。

今回の本部長(総理大臣)賞には、「魚町商店街振興組合」が選ばれました。福岡県北九州市小倉区にある「魚町銀天街」



は、北九州市が平成30年4月に経済協力開発機構(OECD)よりアジア初の「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に認定されたことをきっかけにSDGs商店街を目指し、17の目標の達成に貢献すべく様々な取組を展開したことが評価されたものです。今回は過去最多となる378件からの応募があり、本部長賞のほか10団体が各種表彰を受賞しています。詳細は外務省ホームページをご覧ください。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/award/index.html>

SEF でご提供している“資源管理適正化支援システム「SEF-Net」”は、廃棄物の適正処理が円滑に行われ、再資源化促進への意欲を高めて頂くことを目的としたクラウドサービスです。

排出事業者の廃棄物管理業務の効率を高めるために、廃棄物管理に関わる全ての情報をデータ化します。そして、日常業務管理からコンプライアンス・リスク管理、事業者間のコミュニケーションに至るまで、廃棄物・資源物に関するあらゆる業務をクラウド上で管理することが可能なシステムです。

一部の事業者において義務化が予定される“電子マニフェスト”も、この SEF-Net を活用して運用管理することが可能です。

「インターフェイスの工夫による作業性向上」「複数個所での同時登録・修正が可能」「予約登録の件数の制限なし」など、電子マニフェストを運用管理するうえでのメリットも満載です。

電子マニフェストの導入支援も合わせて行っていますので、まずはお気軽に事務局 (TEL:03 - 5737 - 2744) までお問い合わせください。

詳しいご案内は SEF-Net ホームページをご覧ください。

<https://save-earth.or.jp/sef-net/>



SEFからの  
お知らせ

「ゼロエミッション研究会」第 4 回勉強会を  
1 月 23 日(木)に開催します

参加者募集中

2017 年度、SEF では排出事業者主体による廃棄物・資源循環に関する課題の解決をめざし、「ゼロエミッション研究会」と題して 10 回の勉強会と 1 回の見学会を開催しました。その中で参加者の皆様からは、机上だけではなく実践的な取組みを希望するお声を多く頂戴しました。また、先般新たに公表された食リ法基本方針では、外食産業における取組の促進が課題として挙げられています。そこで、本年度のゼロエミッション研究会では、外食事業者の皆様を対象に、持続可能な食品リサイクルループの構築に関する知識やノウハウを学びながら、実際に再生利用事業計画の認定を受けて食品リサイクルループを開始することをゴールとした取組みを企画し、4 月、6 月、8 月に勉強会を、そして 10 月に現地見学会を開催してきました。今期の取組地域は愛知県名古屋市を予定しており、名古屋市に店舗を構える外食事業者の方が対象ですが、勉強会には対象以外の方でもご参加いただけます。第 4 回勉強会からのご参加も大歓迎。ご参加をご検討、ご希望の方には過去の勉強会資料と議事録をお持ちし、ご説明に上がりますので、お気軽にご連絡ください。

内容の詳細、お申込みは SEF ホームページ下記リンクをご確認ください。

<https://save-earth.or.jp/archives/6254>



チラシ画像をクリックすると  
PDF ファイルでダウンロード  
いただけます

## 森林再生事業 活動報告

# 11月の活動報告(定例) ～日向の森(千葉県山武市)～

日向の森では台風による倒木被害のうち、路網や作業エリア内の危険木の処理を一旦完了したため、今回の活動は、間伐作業と植樹エリアの手入れを行いました。

午前中の間伐作業の様子はNHKによる取材もあり、12月5日(木)の朝の情報番組の中で、山武地域における森林保全活動の取組みとして紹介していただきました。午後は3年前に植樹したスギの枝打ちと、今年植えたスギの周囲の下草刈りを二班に分かれて行いました。



## 森林再生事業 活動報告

# 11月の活動報告 ～東御の森(長野県東御市)～

6月から10月にかけて、「東御の森」をフィールドとして、学校法人郁文館夢学園様(東京都文京区)の中・高校生向け森林林業体験学習プログラムを実施、延べ834名の生徒が参加しました。

このプログラムでは、森林での体験活動を通じて、生物多様性や森林の多様な機能を学びます。

森の自然を五感で感じる「ネイチャートレイル」、森林の機能を学ぶ「土壌調査」や「濾過実験」、森内を流れる所沢川での「水生生物調査」など、各学年にあわせてテーマを設定し、生き物と環境の関わりについて考えてもらいました。

また、活動の中でオオハンゴンソウ(特定外来植物)抜取作業をおこない、在来種保全活動にもご協力いただきました。事前レクチャーでは、森の生き物の話題(中学生)や自然災害と森林機能(高校生)の他に、「森林の課題とSDGs」もとりあげました。

体験プログラムはNPO法人やまぼうし自然学校と(株)Biotop Guildが担当し、SEFが全体のコーディネートにあたりました。



臼杵の森保全パートナー「ワタミエナジー(株)臼杵事業所(以下、WE)」との共催で、中国・九州地方のサポーターの皆様にご参加いただき、今回はこれまで植樹を行ってきたエリアの保全活動を行いました。

一昨年からの活動で、植樹累計本数はサクラ310本、スギ200本となっています。今回は2班に分かれ、サクラ苗木周辺の下草刈りと、スギ苗木の樹高計測を行いました。サクラ、スギともにすくすくと成長している姿を確認しながら、楽しく作業を進めることができました。

これからも地域の皆様の憩いの場となるよう、大切に育てていきたいと思っております。ご参加・ご協力頂いた皆様、ありがとうございました！



## 1月・2月 森林保全活動 のお知らせ ボランティア 募集中！



SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを随時募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日(東京駅から送迎いたします！)に定例活動を行っているほか、

兵庫県丹波市、大分県臼杵市でも定期的を実施しています。

直近の活動は下記を予定していますので、

ぜひご参加ください。

### <1月・2月の活動予定>

千葉県山武市

1月11日(土)、1月25日(土)

2月8日(土)、2月22日(土)

兵庫県丹波市

1月19日(日)、2月15日(土)

※日程は変更となる可能性があります。

最新の情報はホームページを参照ください。 <https://goo.gl/uEt3CZ>

